



システム イベント ログ

- [システム イベント ログ, 1 ページ](#)
- [各サーバのシステム イベント ログの表示, 2 ページ](#)
- [シャーシ内のサーバのシステム イベント ログの表示, 2 ページ](#)
- [SEL ポリシーの設定, 3 ページ](#)
- [システム イベント ログの1つ以上のエントリのコピー, 5 ページ](#)
- [システム イベント ログの印刷, 5 ページ](#)
- [システム イベント ログのリフレッシュ, 6 ページ](#)
- [システム イベント ログの手動バックアップ, 6 ページ](#)
- [システム イベント ログの手動クリア, 7 ページ](#)

システム イベント ログ

システム イベント ログ (SEL) は、NVRAM 内の CIMC に存在します。SEL は、システム正常性に関するトラブルシューティングのために使用されます。過不足電圧のインスタンス、温度イベント、ファン イベント、BIOS イベントなど、ほとんどのサーバ関連イベントが記録されます。SEL によってサポートされるイベントのタイプには、BIOS イベント、メモリユニット イベント、プロセッサ イベント、およびマザーボード イベントが含まれます。

SEL ログは SEL ログ ポリシーに従って CIMC NVRAM に保存されます。SEL ログを定期的にダウンロードしてクリアすることがベスト プラクティスです。SEL ファイルのサイズは約 40KB で、ファイルがいっぱいになるとそれ以上イベントを記録できません。新たなイベントを記録できるようにするには、ファイルの中身をクリアする必要があります。

SEL ポリシーを使用して、SEL をリモート サーバにバックアップできます。また、必要に応じて、バックアップ操作後に SEL をクリアすることもできます。バックアップ操作は、特定のアクションに基づいて起動するか、定期的に行われるように設定できます。SEL のバックアップやクリアは、手動で行うこともできます。

バックアップ ファイルは、自動的に生成されます。ファイル名の形式は `sel-SystemName-ChassisID-ServerID-ServerSerialNumber-Timestamp` です。

たとえば、`sel-UCS-A-ch01-serv01-QCII2522939-20091121160736` という名前になります。

各サーバのシステム イベント ログの表示

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] の順に展開します。
 - ステップ 3 システム イベント ログを表示するサーバをクリックします。
 - ステップ 4 [Work] ペインの [SEL Logs] タブをクリックします。
Cisco UCS Manager によってサーバのシステム イベント ログが取得され、イベントのリストが表示されます。
-

シャーシ内のサーバのシステム イベント ログの表示

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis_Name] の順に展開します。
 - ステップ 3 [Work] ペインの [SEL Logs] タブをクリックします。
Cisco UCS Manager によってサーバのシステム イベント ログが取得され、イベントのリストが表示されます。
 - ステップ 4 [Server] テーブルで、システム イベント ログを表示するサーバを選択します。
Cisco UCS Manager によってサーバのシステム イベント ログが取得され、イベントのリストが表示されます。
-

SEL ポリシーの設定

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ 2 [Equipment] ノードをクリックします。
- ステップ 3 [Work] ペインの [Policies] タブをクリックします。
- ステップ 4 [SEL Policy] サブタブをクリックします。
- ステップ 5 (任意) [General] 領域で、[Description] フィールドにポリシーの説明を入力します。この領域の他のフィールドは読み取り専用です。
- ステップ 6 [Backup Configuration] 領域で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Protocol] フィールド	<p>リモートサーバとの通信時に使用するプロトコル。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FTP • TFTP • SCP • SFTP • USB A : ファブリック インターコネクト A に挿入された USB ドライブ。 このオプションは特定のシステム設定でしか使用できません。 • USB B : ファブリック インターコネクト B に挿入された USB ドライブ。 このオプションは特定のシステム設定でしか使用できません。
[Hostname] フィールド	<p>バックアップ設定が存在する場所のサーバのホスト名または IP アドレス。</p> <p>(注) バックアップファイルの名前は、Cisco UCS によって生成されます。名前は次の形式になります。</p> <pre>sel-system-name-chchassis-id- servblade-id-blade-serial -timestamp</pre>

名前	説明
[Remote Path] フィールド	<p>必要に応じて、リモートサーバ上のファイルの絶対パスを指定します。</p> <p>SCP を使用する場合、絶対パスは常に必要です。他のプロトコルを使用する場合は、ファイルがデフォルトのダウンロードフォルダにあれば、リモートパスを指定する必要はありません。ファイルサーバの設定方法の詳細については、システム管理者に問い合わせてください。</p>
[Backup Interval] ドロップダウン リスト	<p>自動バックアップ間の待機時間。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Never : 自動 SEL データ バックアップを実行しません。 • 1 Hour • 2 Hours • 4 Hours • 8 Hours • 24 Hours • 1 Week • 1 Month <p>(注) システムによって自動バックアップを作成する場合は、[Action] オプション ボックス内の [Timer] チェックボックスがオンになっていることを確認してください。</p>
[Format] フィールド	<p>バックアップファイルに使用する形式。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Ascii • 2 進数
[Clear on Backup] チェックボックス	<p>オンにすると、Cisco UCS はバックアップが完了した後にすべてのシステム イベント ログをクリアします。</p>
[User] フィールド	<p>システムがリモートサーバへのログインに使用する必要のあるユーザ名。このフィールドは、プロトコルが TFTP または USB の場合は適用されません。</p>
[Password] フィールド	<p>リモートサーバのユーザ名のパスワード。このフィールドは、プロトコルが TFTP または USB の場合は適用されません。</p>

名前	説明
[Action] チェックボックス	<p>オンにした各ボックスでは、イベントが発生したときに、システムは SEL のバックアップを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Log Full] : ログが許容される最大サイズに到達。 • [On Change of Association] : サーバとそのサービス プロファイルの間のアソシエーションが変化。 • [On Clear] : システム イベント ログがユーザによって手動でクリア。 • [Timer] : [Backup Interval] ドロップダウン リストで指定された時間間隔に到達。
[Reset Configuration] ボタン	バックグラウンドの設定情報をリセットするには、このボタンをクリックします。

ステップ 7 [Save Changes] をクリックします。

システム イベント ログの1つ以上のエントリのコピー

このタスクでは、サーバまたはシャーシの [SEL Logs] タブで、サーバのシステム イベント ログが表示されていることを前提にしています。

手順

- ステップ 1** Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベント ログが表示されたら、マウスを使用してシステム イベント ログからコピーするエントリを強調表示します。
- ステップ 2** Copy をクリックして、強調表示されたテキストをクリップボードにコピーします。
- ステップ 3** 強調表示されたテキストをテキスト エディタまたは他のドキュメントに貼り付けます。

システム イベント ログの印刷

このタスクでは、サーバまたはシャーシの [SEL Logs] タブで、サーバのシステム イベント ログが表示されていることを前提にしています。

手順

-
- ステップ 1** Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベント ログが表示されたら、Print をクリックします。
- ステップ 2** [Print] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
- (任意) デフォルトプリンタ、あるいはその他の任意のフィールドまたはオプションを修正します。
 - [Print] をクリックします。
-

システム イベント ログのリフレッシュ

このタスクでは、サーバまたはシャーシの [SEL Logs] タブで、サーバのシステム イベント ログが表示されていることを前提にしています。

手順

Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベント ログが表示されたら、Refresh をクリックします。

Cisco UCS Manager はサーバのシステム イベント ログを取得し、アップデートされたイベントのリストを表示します。

システム イベント ログの手動バックアップ

このタスクでは、サーバまたはシャーシの [SEL Logs] タブで、サーバのシステム イベント ログが表示されていることを前提にしています。

はじめる前に

手順

Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベント ログが表示されたら、[Backup] をクリックします。

Cisco UCS Manager は、SEL ポリシーで指定された場所にシステム イベント ログをバックアップします。

システム イベント ログの手動クリア

このタスクでは、サーバまたはシャーシの [SEL Logs] タブで、サーバのシステム イベント ログが表示されていることを前提にしています。

手順

Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベント ログが表示されたら、[]Clear をクリックします。

- (注) SEL ポリシーの [Action] オプション ボックスで [Clear] がイネーブルになっていると、この処理によって自動バックアップが実行されます。

